

RYOBI

®

チェーンのみ

CM-30A

取扱説明書

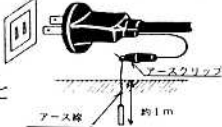
ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6981595 (M)



●ご使用に当たりますの注意事項

ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- チェーン刃を取付ける時、調整を行なう時、等は手袋などを使用して、けがをしないようにして下さい。
 - チェーン刃の張りは使用説明に従って常に適正な状態でご使用下さい。
 - 木材に釘などの異物のないことを確認して下さい。異物がある場合はチェーン刃が破損する場合があります。
 - 加工する時には反発がありますので、両手でハンドルをしっかりと保持し、身体の安定を保って使用して下さい。
 - 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
 - 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後、御使用下さい。
 - 運転中はチェーン刃及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
 - 能力を超えた作業は事故のもとです。チェーン刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな加工面が得られます。
 - 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
 - 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
 - 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
 - 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻きこまれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴をはいて下さい。
 - 本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたるところは避けて下さい。
 - 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチを切り、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
 - 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源より外して下さい。
 - 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
 - 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。
ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
 - チェーン刃は使用説明に従い、完全に取付けた状態でご使用下さい。不完全な取付けで運転しますとチェーン刃が破損したり、正確に穴あけが出来ない場合があります。
 - 感電事故を防止する為にご使用に先だちコード端にあるアースクリップを接地して下さい。
- 
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。
点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合せ下さい。

●特 長

- 1回の締付で左右 127 mmの長穴加工が可能です。しかも1本のレバーにより、移動と締付が出来る便利な構造になっております。
- ワンタッチのレバー締付方式の採用により、50～185 mmの角材が楽に締付出来ます。
- 前後移動は微調整装置付の定寸加工装置を備えていますので、正確、かつ迅速に穴あけ位置にセット出来ます。
- ハンドル部にスイッチが付いていますから作業が容易に、安全に出来ます。

●仕 様

電 圧	100V
電 流	14A
回転数	3400 R. P. M
最大切込深さ	160mm
木材締付巾	50～185mm
前後移動量	125mm
左右移動量	75mm
重量	16kg

●用 途

平ホゾ穴加工、ヌキ穴加工

●通常附属品

- チェーン刃 (本体取付)
- 両口スパナ 13×17mm

●特別附属品 (別販売)

- チェーン刃 15mm, 16.5mm, 18mm, 21mm, 24mm, 30mm
- 櫛型砥石
- 30mm

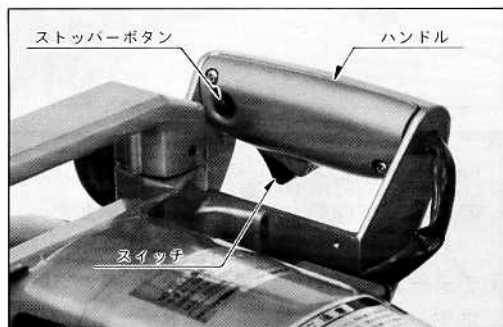
チェーン刃セット

チェーン刃 30mm	1 本
チェーン刃 30mm用ガイドバー	1 本
チェーン刃 30mm用スプロケット	1 ケ
スプロケットカラー 30A	1 ケ
スプロケット取外し用スパナ 24mm	1 本

●スイッチ

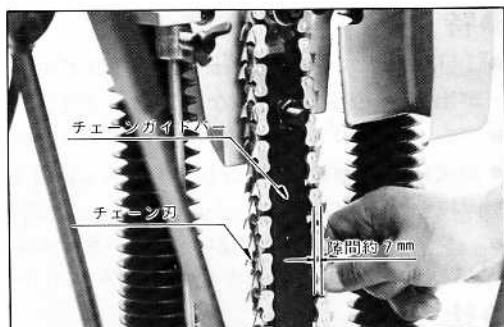
スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。

またスイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンがはずれ、スイッチは切れます。連続使用の場合は、このストッパーボタンをご利用下さい。



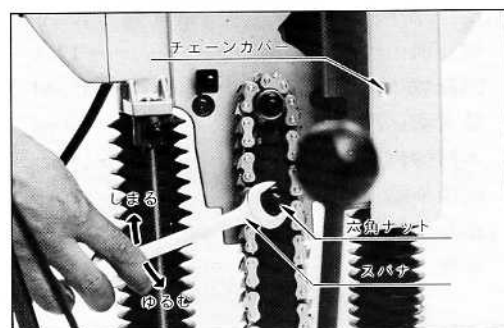
●チェーン刃の張り具合

チェーン刃の中央部分をつかみ外側に引張った場合、ガイドバーとチェーン刃の隙間は約7mm程度が最適です。（あまり強く張りますとチェーン刃やモーターに無理を与えます。また逆にゆる過ぎますと角穴が正確にあきませんから注意して下さい）

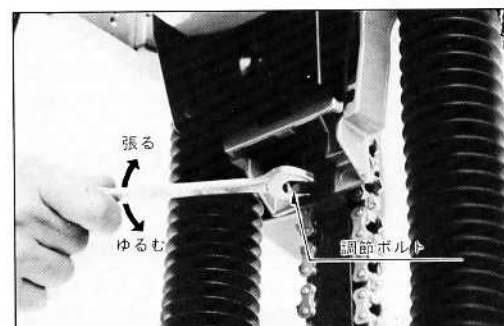


●チェーン刃の取替

①チェーンカバーを開き、チェーン刃を締付けている六角ナットをゆるめます。

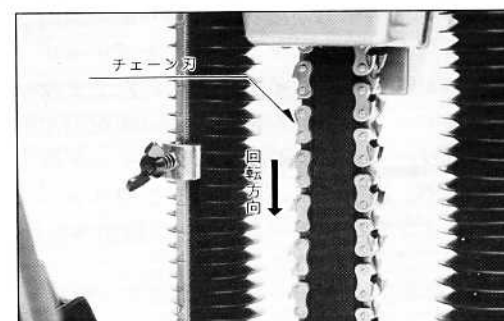


②チェーンガイドバー後部のチェーンガイドバー調節ボルトをゆるめ、チェーンガイドバーからチェーン刃を取り外します。



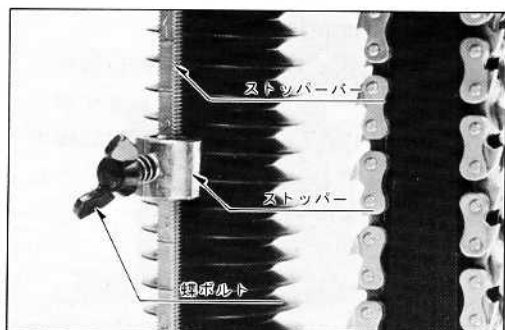
③チェーン刃の回転方向は正面から見て左回転ですから刃先はチェーンガイドバーの左側で下向きになるよう取付けます。

④チェーン刃の取付けは取外しの逆で行います。



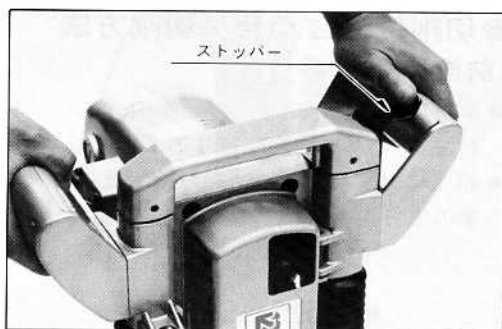
●切込深さ調整

- 切込深さに合わせてストッパー調整を行って下さい。ストッパーバーの目盛は有効深さを示しております。
- ストッパーの蝶ボルトをゆるめ、ストッパーの上端を切込む深さに目盛を合わせ、蝶ボルトで締付けて下さい。
(刃先位置はストッパーバーに印された目盛からさらに26mm深くなります。)



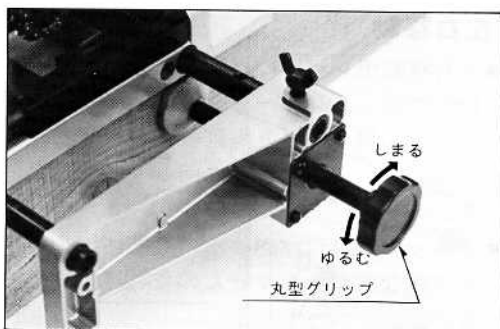
●ストッパー

- ストッパーを押さないとチェーン刃が下降しない安全設計になっております。
- 加工時にはハンドル部のストッパーを押して、チェーン刃を加工材に押し付けて下さい。



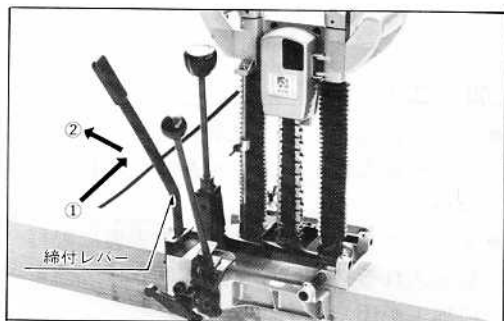
●バイス方法

- 木材締付丸型グリップを回して締付板を木材の側面に近づけ、5mm位の隙間をあけて下さい。この時、締付レバーは押した状態にして下さい。



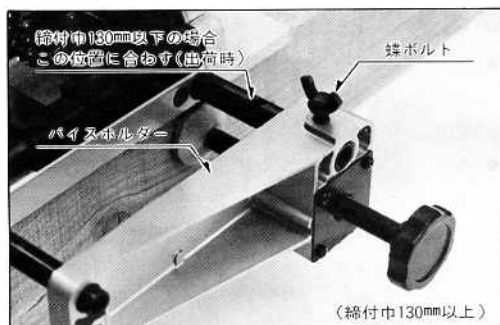
- 締付レバーを手前に引き、外側に倒してロックします。木材への締付が強過ぎたり、弱過ぎたりした場合は、木材締付丸型グリップで調整して下さい。

- 本機を移動させる場合には、締付レバーをゆるめ、ハンドルを持ち上げて下さい。



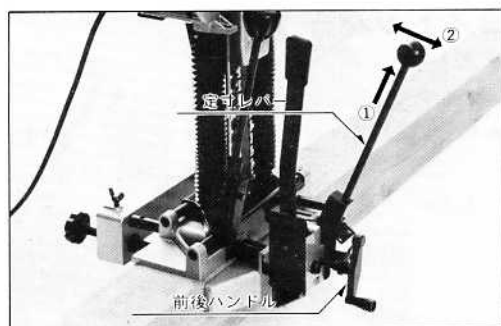
〈130～185mm巾の締付〉

- 出荷時には最大締付巾 130mmの位置にバイスホルダーをセットしてありますが、130mm巾以上の木材を締付ける際は、蝶ボルトを外してバイスホルダーをセットし直して下さい。



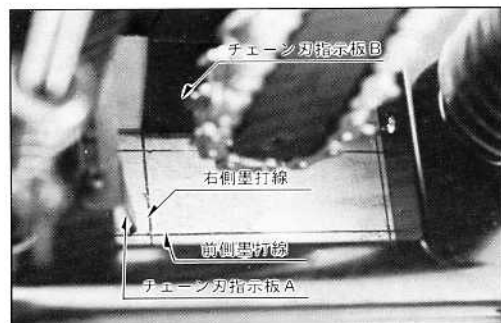
●切削位置合わせ、切削方法 〈前後移動〉

- 木材を締付後、定寸レバーを前方にロックさせます。(P 6〈定寸加工〉参照)
- 前後ハンドルでチェーン刃指示板Aと前後の墨打線を合わせます。



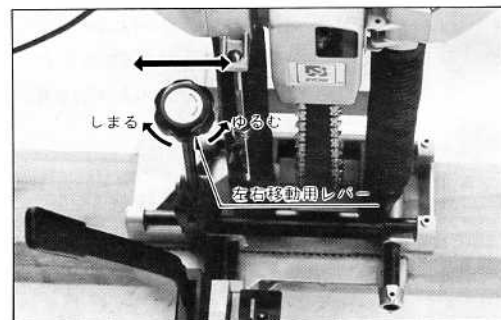
〈左右移動〉

- 左右移動用レバーのグリップを左(ゆるむ)に回し、レバーを左右に動かし、チェーン刃指示板Bと墨打線を合わせ、グリップを右(しまる)に回して締付けます。
- グリップの締付けがゆるいと機体が動いて正確な穴があきませんのでご注意ください。



〈加工〉

- チェーン刃の位置調整が出来ましたらスイッチを入れ、ハンドルを静かにおろしながら、加工します。
- ヌキ穴加工の場合、加工材の表裏に墨打線を入れる必要はなく、表側だけで簡単に加工が出来ます。

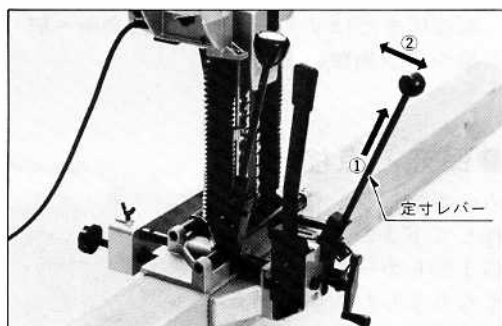
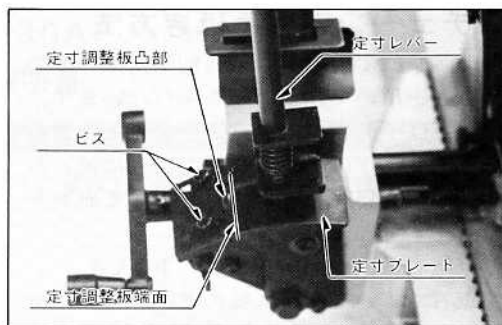


〈定寸加工〉

- 30mm巾の穴をあける場合には、定寸レバーを使用して下さい。ビス2本をゆるめ、定寸調整板の端面を使用するチェーン刃巾と同じ目盛に合わせて、ビス2本で固定します。

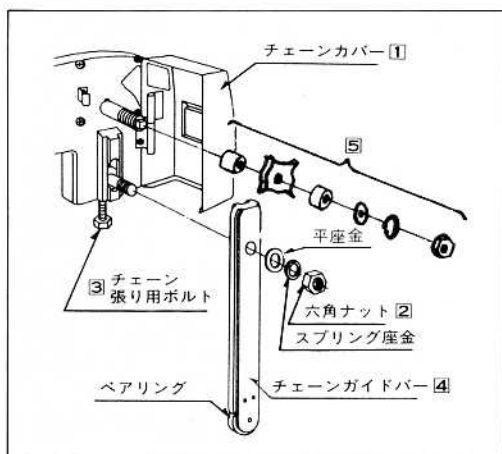
(例) 18mmチェーン刃を使用して、30mm巾の穴をあける場合には、定寸調整板の端面を定寸プレートに刻印された18の線に合わせます。

- 定寸レバーを上へ引き上げ、前方に倒してから、定寸レバーをはなすと、定寸調整板の凸部と定寸レバー底の凹部が一致し、定寸レバーはロックされます。この状態で加工した後、定寸レバーを再度引き上げながら手前に引き、定寸プレートの凸部に定寸レバーをロックして加工を行って下さい。
- 巾30mmの加工が簡単に行えます。



●30mmチェーン刃取付方法 (特別附属品)

- ① 先ずチェーンカバーを開きます。
- ② 17mmのスパナで六角ナットを取外します。
- ③ チェーン張り用ボルトをゆるめます。
- ④ ガイドバーとチェーン刃を取外します。
- ⑤ 30mmチェーン刃セット付属のスパナ24mmでスプロケットを固定した後、スパナ13mmでナットをゆるめ、スプリング座金、スプロケットワッシャー、スプロケットカラーB (巾9mm)、スプロケット、スプロケットカラーA (巾15mm) の順に取外します。
- ⑥ 30mm用ガイドバーをスプリング座金と六角ナットで取付けます。次にスピンドルにスプロケットカラー30A (巾12mm)、30mm用スプロケット、スプロケットワッシャー、スプリング座金の順に取付け、



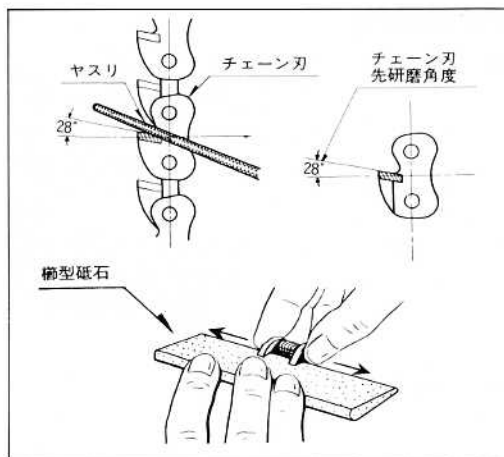
スパナ24mmでスプロケットを固定し、スパナ13mmでナットを締付けた後、チェーン刃の張りを調節して固定します。

●チェーン刃の手砥ぎ方法

- ①ヤスリにて荒砥ぎし、特別附属品の櫛型砥石を用いて仕上げ砥ぎを行ないます。
- ②砥石は平面に置き、チェーン刃をつまんで図のようにチェーン刃を左右に砥石の上を10～15回ぐらいスライドして研磨をします。

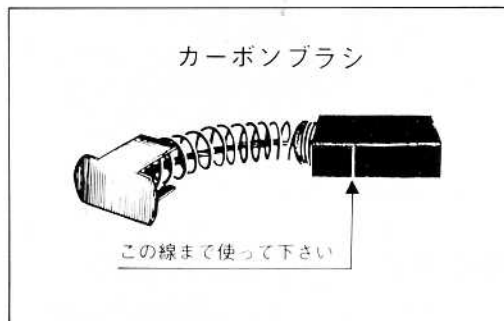
(砥石には充分油をつけて下さい)

砥石で砥いても切れ味の悪い場合や、チェーン刃の先端が欠けた場合お買い上げ販売店またはリョービ販売網営業所へ研磨をご依頼願います。



●保守と点検

カーボンブラシを作業前後に時々外して点検して下さい。カーボンブラシは全長の $\frac{1}{2}$ 以下即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換して下さい。短かいカーボンブラシをそのまま使っておりますとモーター焼損の原因になることがありますのでご注意下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、もしくはリョービ販売網営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

リョービ販売 株式会社
RYOBI

リョービ 株式会社
RYOBI